



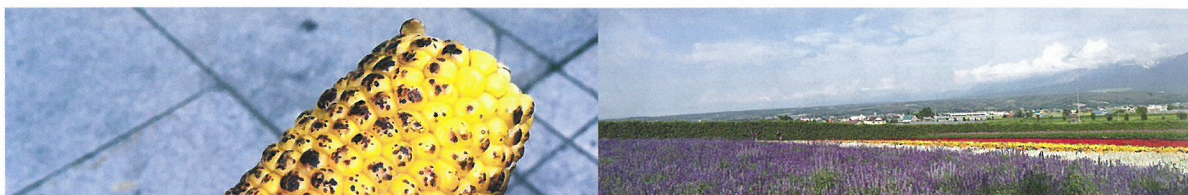
特集

# 知ろう語ろう

## 北海道に暮らす仲間たち

2020年9月12日、13日に北海道・旭川の地で全国障害者問題研究会第54回全国大会が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大、深刻化を受けて中止になりました。

この大会はオリンピック・パラリンピックが重なる中、2017年より3年あまりの時間をかけて現地北海道の準備委員会の方々を中心に準備がされてきました。今回の特集では、大会に込められた思いや見どころをはじめ、北海道の地に暮らす障害のある人、家族、関係者の魅力的な姿やとりくみを余すところなくお伝えします。この一冊を通して、みなさんと北海道に思いを馳せましょう。



Special Interview

### 一人ひとりが小さな一歩を踏み出すきっかけに

映画「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」を通して

「こんな夜更けにバナナかよ」というタイトルが気になって、実は2003年に原作となる単行本が発売されたときに本は買っていたんです。でも、いわゆる

映画「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」誕生まで

映画監督  
前田 哲さん

まえだ てつ/1998年に相米慎二監督のもと、CMから生まれたオムニバス映画『ポッキー坂恋物語・かわいいひと』で劇場映画デビュー。主な映画作品は、『パコダテ人』(02)、『ドルフィンブルー フジもういちど宙へ』(07)、『ブタがいた教室』(08)、『極道めし』(11)、『王様とボク』(12)、『こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話』(18)、『ぼくの好きな先生』(19)など。



# わたしの教材・教具



京都  
支援学校教員  
木下 博美



お家で修学旅行



書家として生きる。足筆書道

## お家で修学旅行&足筆書道で在宅就労

**B**さんは中学部入学時から訪問教育。呼吸器を装着してのベッド生活。知的障害はないものの体幹や上肢を動かすことはむずかしくなりました。高等部の時、外出が困難なことから修学旅行をどうしようかと担任の先生は悩みました。そこで「振袖の着物を着て記念撮影をする」そんな体験はどうかともちかけてみました。少し早い成人式みたいに！

**家**族のみなさんの賛同を得て体験学習『修学旅行』として実施。衣装屋さん写真館さんに自宅に来てもらいました。Bさんはワクワクしてその日を迎えました。振袖は上着・帯・腰下に3分割されていて寝た姿勢のまま着付けできます。気に入る色柄の振袖を選び、照明のライトを浴びてニコニコ。すてきな記念写真が撮れました。そして担任の先生と共同でつくった昼食「キーマカレーと卵焼き」を家族に食べてもらいました。Bさんの心に残る修学旅行になったと思います。

**起**き上がることのできないベッド生活ですが、足を自由に動かすことができます。足

の指でタッチパネルを操作しPCを操ります。ゲームは「お足?のもの」。文章を打つこともできます。その足の指に毛筆をつけての「足筆書道」がBさんの特技です。小学生の頃、病気になる前のBさんは習字が大好きな女の子でした。高等部の訪問学習のなかでも数多くの書を書き上げました。文化祭ステージ大道具に畳4枚分の「と・も・だ・ち」の大作を書いたり、色紙大の和紙に「蟋蟀(何と読むでしょうか?)との難読文字を書いて学校の廊下に展示したり、人とつながることを大切に活躍しました。卒業の時に書いてくれた「感謝」の文字は、担任たちの目にあたたかい涙を誘ってくれました。

**卒**業後、この地方では初めて在宅就労で就労継続支援B型を利用できるようになりました。在宅での作業をしつつ、福祉事業所で書道の個展を開くこともできました。たくさんの方々が見に来られて「感動と勇気をもらいました」との感想を寄せられていました。「書家として生きる」そんな人生を、人々とつながり合いながら歩んでほしいと心から応援しています。